

事業名	【継続】 長崎県消防ポンプ操法大会出場経費				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
798万2					798万2
事業期間	平成30年度 (単年度事業)			総事業費	798万2

【事業目的】

長崎県消防ポンプ操法大会は、消防団員の消防技術の向上と、士気の高揚を図り、もって消防活動の進歩、充実等消防団の活性化に資することを目的に開催されます。

【事業概要】

- 《 事業主体 》 島原市(島原市消防団)
- 《 事業実施期間 》 大会期日：平成30年8月5日(日)
訓練期間：平成30年5月中旬から大会までの期間(予定)
- 《 事業内容 》 湯江地区の消防団員が出場することになっており、上記のとおり訓練を実施予定です。



※前回大会の様子

科目	9款	1項	2目	目名称	非常備消防費	市民安全課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	〈28年度〉 大三東地区出場			上記のとおり 湯江地区出場予定		隔年で実施 (平成32年度出場予定)

事業名	【新規】 消防ポンプ自動車更新事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,303万3			2,300万0		3万3
事業期間	平成30年度～平成36年度 (複数年度事業)			総事業費	1億6,123万1

【事業目的】

火災や災害時において確実に消防団活動が行えるよう、消防団各分団に配備している消防自動車のうち、年式の古い車両を年次計画で更新します。

【現状・課題】

各分団に配備している消防自動車のうち平成9年式の車両7台については、既に20年を経過しているため故障が発生してきています。また、7台の車両は冷房装置が付いていないため、雨天時、窓を閉め切った状態で窓が曇るなど、運転にも影響があります。しかし、車両が高額なため、単年度で大きな財政負担とならないよう、年次計画で車両を更新します。

【積算根拠】

- 14分団消防ポンプ自動車購入費 23,000千円
- リサイクル料 11千円
- 自動車損害保険料 9千円
- 自動車重量税 13千円

【参考写真】

平成26年度購入 6分団消防ポンプ自動車



科目	9款	1項	3目	目名称	消防施設費	市民安全課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			H30年度 14分団		H31年度 5分団 H32年度 3分団 H33年度 10分団 H34年度 15分団 H35年度 16分団 H36年度 19分団

事業名	【新規】 Jアラート新型受信機更新事業				
当初予算額	財源内訳 (単位: 千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
260万0			260万0		
事業期間	平成30年度 (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

平成31年度から、全国瞬時警報システム（Jアラート）の情報伝達が新型受信機のみにより行われることとなるため新型受信機への更新を行うものです。

【事業概要】

○新型受信機による処理時間の大幅な短縮

大地震発生時など、処理すべきデータ量が膨大な場合には、受信機の情報処理に時間を要する恐れがあるが、新型受信機への切り替えにより、平均7～8秒の短縮が可能になります。

○気象等の特別警報等に係る情報伝達の充実

気象等の特別警報に係る音声出力は、「大雨」「暴風」「高潮」「波浪」「大雪」「暴風雪」の6区分あり、現行は、処理時間の遅延回避のため、「大雨」と「その他」の2つに分けているが、新型受信機への切り替えにより、6つに分けることが可能になり、また、警報・注意報についても、種別を自動で認識し、警報・注意報名を読み上げることが可能となります。

<導入の効果>

処理時間の短縮

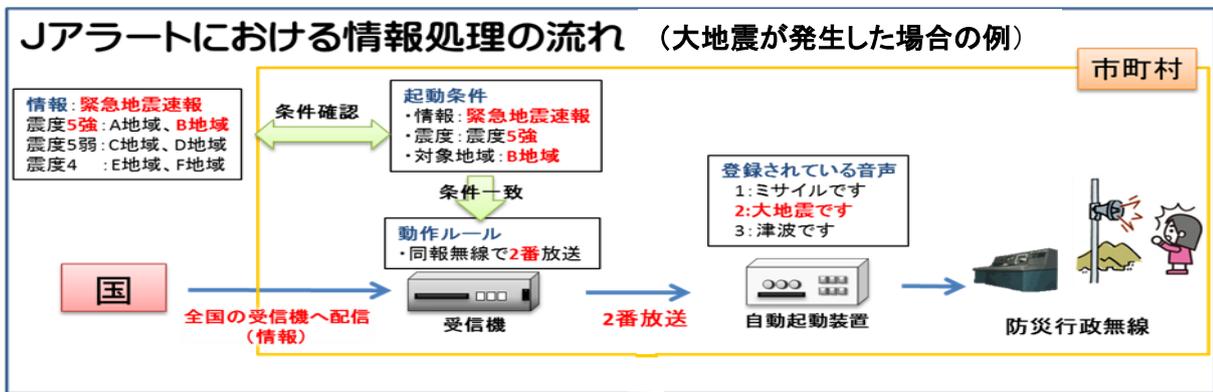
【現行】情報処理に時間を要する恐れあり

【新型】処理時間が1～2秒以内に短縮

伝達情報の充実

【現行】特別警報は「大雨」「その他」の2区分

【新型】「大雨」「暴風」「高潮」「波浪」「大雪」「暴風雪」の6区分



科目	9款	1項	4目	目名称	災害対策費	市民安全課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			上記事業内容と同じ		—